



# 役員一覧 (2024年6月25日現在)

## 役員情報

- 取締役
- 監査役

名前	澤井 光郎	横田 祥士	小原 正敏		東堂 なをみ	三津家 正之	坪倉 忠男	友廣 隆宣	平野 潤一
									
役職	代表取締役会長兼社長 グループ最高経営責任者(グループCEO)兼グループ最高執行責任者(グループCOO)	取締役 専務執行役員 グループ研究開発統括役員(グループCRO)	社外取締役(独立役員)		社外取締役(独立役員)	社外取締役(独立役員)	常勤監査役	社外監査役(独立役員)	社外監査役(独立役員)
生年	1956年生まれ	1957年生まれ	1951年生まれ		1959年生まれ	1954年生まれ	1961年生まれ	1958年生まれ	1955年生まれ
指名・報酬等ガバナンス委員会	●		●(委員長)		●	●			
取締役会への出席状況*	14/14回	11/11回(2023年6月選任)	13/14回		14/14回	11/11回(2023年6月選任)	14/14回	14/14回	14/14回
監査役会への出席状況*	—	—	—		—	—	13/13回	13/13回	13/13回
所有する当社株式の数	1,057,200株	700株	1,100株		1,200株	0株	1,000株	400株	400株
主な経歴	1982年4月 協和発酵工業株式会社(現協和キリン株式会社)入社 1989年1月 沢井製薬株式会社入社 2000年6月 同 取締役営業本部副本部長 2002年6月 同 常務取締役営業本部長 2008年6月 同 代表取締役社長 2020年6月 同 代表取締役会長(現在) 2021年4月 当社 代表取締役会長 2023年6月 当社 代表取締役会長兼社長(現在)	1982年4月 山之内製薬株式会社(現アステラス製薬株式会社)入社 2016年9月 沢井製薬株式会社入社 2017年6月 同 執行役員研究開発本部副本部長兼物性研究部長 2021年4月 当社 常務執行役員 2023年6月 沢井製薬株式会社 取締役専務執行役員研究開発本部長(現在) 2023年6月 当社 取締役専務執行役員(現在)	1979年4月 大阪弁護士会 弁護士登録 吉川綜合法律事務所(現きかわ法律事務所)入所 1987年2月 米国ニューヨーク州 弁護士登録 1988年1月 きかわ法律事務所 パートナー(現在) 2017年4月 大阪弁護士会 会長、日本弁護士連合会副会長 2019年6月 沢井製薬株式会社 取締役 2021年4月 当社 取締役(現在)		1984年6月 医師免許取得 1984年7月 大阪大学医学部附属病院 勤務 2002年1月 大阪鉄商健康保険組合 健康管理室勤務(現在) 2007年1月 日本医師会認定 産業医資格取得 2015年6月 沢井製薬株式会社 取締役 2021年4月 当社 取締役(現在)	1982年4月 三菱化成工業株式会社(現三菱ケミカル株式会社)入社 2009年6月 田辺三菱製薬株式会社 取締役執行役員製品戦略部長 2012年4月 同 取締役常務執行役員開発本部長 2014年6月 同 代表取締役社長 社長執行役員 2023年6月 当社 取締役(現在)	2008年7月 沢井製薬株式会社入社 経営管理部長 2012年4月 同 総務部長 2018年6月 同 常勤監査役 2021年4月 同 監査役(現在) 当社 常勤監査役(現在)	1991年4月 弁護士登録 小越・滝澤法律事務所(現神戸海都法律事務所)入所 1994年4月 神戸海都法律事務所パートナー(現在) 2016年6月 沢井製薬株式会社 監査役 2020年4月 兵庫県弁護士会 会長 2021年4月 当社 監査役(現在)	2013年7月 大阪国税局 調査第二部調査総括課長 2014年7月 東淀川税務署長 2015年7月 姫路税務署長 2016年8月 税理士事務所開設 代表(現在) 2017年6月 沢井製薬株式会社 監査役 2021年4月 当社 監査役(現在)

\* 期間: 2023年4月1日~2024年3月31日

## スキルマトリックス

	重要と考える理由	澤井 光郎	横田 祥士	小原 正敏	東堂 なをみ	三津家 正之	坪倉 忠男	友廣 隆宣	平野 潤一
企業経営	企業理念に基づく意思決定とともに経営責任を負ってきた経験が、当社グループの経営判断にとって重要	●				●			
法務・リスクマネジメント	企業価値の最大化を図るに当たって、定められたルールやリスクの許容範囲とのバランスを判断することが重要			●				●	
財務・会計・税務	当社グループの企業価値を正確に把握・算定するとともに、適正な納税を図るために重要						●		●
製造・品質	消費者に当社グループの製商品等を安心してお使いいただくため、高水準の品質管理・生産管理が重要		●						
営業・販売	当社グループが提供する製商品等の良さを消費者に伝えるとともに、ニーズを広く集めることが重要	●							
研究・開発・技術	社会のニーズに合致した高付加価値な製商品等を継続的に提供していくために重要		●			●			
医学薬学	生命・健康に関連するヘルスケア総合企業を目指す当社グループにとって、医学・薬学は重要		●		●	●			